

アルミラミネート用接着剤のご紹介

TOAGOSEI

特徴

オレフィン & 金属への良好な接着性

耐熱性

耐薬品性

低温接着性

○アルミ箔への**CPP**ラミネートに好適

○市場既存品と比較し、特に熱間強度・

耐電解液性に優れる

液性状

アロンメルトPPET-PO89-6 (開発品)			(比較) 市場既存品	
	主剤	硬化剤 PO89-6B	主剤	硬化剤
外観	無色～微黄色 透明液体	無色～微黄色 透明液体	短黄色 透明液体	短黄色 透明液体
主成分	変性オレフィン	イソシアナート 化合物	変性オレフィン	イソシアナート 化合物
溶剤	シクロヘキサン 酢酸エチル	酢酸ブチル メチルエチルケトン	シクロヘキサン 酢酸エチル	—
主成分濃度	15wt%	80wt%	15wt%	100wt%
推奨配合比	100/2.6		100/1.5	

性能紹介

アロンメルトPPET-PO89-6 (開発品)		(比較) 市場既存品
室温剥離	20 N/15mm	20 N/15mm
80℃剥離	8 N/15mm	2 N/15mm
120℃剥離	4 N/15mm	1 N/15mm
耐薬品性試験A 85℃24h後	10 N/15mm	10N/15mm
耐薬品性試験B 85℃24h後	10 N/15mm	1N/15mm

評価方法

試験基材： CPP/AL
接着条件： 80°Cラミネート、40°Cで7日間養生

試験片作成条件：

- 1) 化成処理アルミ箔に接着剤をバーコーターで塗布した (Dry2~4 μ m目標)
- 2) アルミ箔を熱風循環式オーブンに投入し、接着剤に含まれる溶剤を乾燥させた (100°C×30秒)
- 3) アルミ箔とコロナ処理を行ったCPP (Cast polypropylene) を合わせ、80°Cに加熱した熱ロールを用い線圧1MPaでラミネートした
- 4) 接着物を熱風循環式オーブン内でエージングさせた (40°C×7日)
- 5) エージング終了後、試験片を15mm幅にカットし、処理条件毎に接着離強さを測定した
 - ①常態
 - ②耐薬品試験A
LiPF₆濃度1mol/lのエチレンカーボネート/ジエチレンカーボネート = 1 / 1 vol.溶液に85°C×24h浸漬
 - ③耐薬品試験B
プロピオン酸プロピルに85°C×24h浸漬

使用例(ドライラミネート)

